

平成30年度第2回清瀬市廃棄物減量等推進審議会（要旨）

日 時：平成30年7月26日（木） 午前10時～

場 所：清瀬市役所4F 第1・2委員会室

出席委員 石井会長、尾崎副会長、関委員、恩田委員、金子委員、加藤委員、阿久津委員、濱野委員、有戸委員、大槻委員、織田委員、林委員（12名）

欠席委員 小糸委員、小畑委員（2名）

会議次第

1. 開 会
2. 議 題
 1. 会議録（要旨）について
 2. 答申案について
 3. その他
3. 閉 会

配布資料

- ・ 資料1 平成30年度第1回清瀬市廃棄物減量等推進審議会（要旨）
- ・ 資料2 廃棄物等収集体系の見直しについて（事務局答申案）
- ・ 資料3 今後の廃棄物減量等推進審議会について（審議会取組計画案）

審議経過

1 開会

2 議題

(1) 会議録（要旨）について

【事務局】

配布資料『平成30年度第1回清瀬市廃棄物減量等推進審議会（要旨）』について説明し、委員からの承認を得る。

(2) 答申案について

【事務局】

前回までの審議会において、平成29年度第4回の審議会にて清瀬市長より諮問をしていた収集体系の見直しについての一定の方向性を出すことができたことから、清瀬市長に対する答申案について事務局案を説明。

【委員長】

ただいま事務局より答申案について説明がありました。収集体系の見直しの諮問に対する答申という形で、審議会において出された意見等が集約されたものとなっています。何かご意見等のある委員はいらっしゃいますでしょうか。

【委員】

答申案の1番について、少しわかりづらい気がするのですが、戸別収集は集合住宅を対象とせず戸建のみを対象として行うということによろしいのでしょうか。

【事務局】

これまで審議会でもお話しさせていただきましたように、集合住宅についてはステーション収集方式を継続していくこととなります。ただし答申案の2番で触れているように、集合住宅における収集に関してのサービスの向上についても検討を行っていきます。

【委員】

これはまた違う話になってしまうのかもしれませんが、ごみの収集というのは大変な仕事であり、特にこのような炎天下においてはなおさら過酷な仕事であると思われます。戸別収集を実施いたしますとごみの収集作業というのはさらに大変になるとは思われますが、そうした労働者に対する配慮というのは最大限行っていただきたいと思えます。

【事務局】

これまでの審議会においてもお話しさせていただきましたが、近年清瀬市の収集業者に対する委託費は、集積所等が増えているにもかかわらず委託費は一定であるのが現状です。今回戸別収集の実施にあたり収集箇所が増えるのももちろん委託費は上がることにはなりますが、委託業者と業務量や人件費等様々な要素を加味した上で検討を行い、適切な委託料の算出を行っていきます。

【委員】

ごみの収集を生業としている立場から言わせてもらいますと、委員の皆様から清掃業に対してこのようなご意見をいただけることは大変ありがたいことです。実際、戸別収集を導入いたしますと、ステーション方式と比較して万歩計でいうとおよそ3倍の歩数となります。一日の移動距離からすると10キロメートルマラソンをしているようなものです。

委託費の算定にあたっては、作業員の安全を確保し、税金を無駄遣いしないよう行政と話をするのはもちろんのこと、適正な金額の算出をしていきます。

【委員】

答申案の3番では説明“責任”とかかかっていますが、ここでの責任とはどのようなことを意味するのでしょうか。一軒一軒お家を回るとかそういうことなのでしょうか。

【事務局】

収集体系が大きく変わることで市民の生活にも大きく影響を与えることから、そうした説明については丁寧に行っていくことを指しております。

【委員】

説明会の実施回数よりも説明会に参加した人数や、より多くの人に周知を行える媒体で市民周知を行っていくことが重要であるように思います。

【委員】

先ほども少し話に出ましたが、答申案において1番では3品目において戸別収集を導入する旨の記載があり、2番において集合住宅のサービス向上に配慮すると記載があるため、結局戸別収集はどこを対象に行うのかがはっきりしていないように思います。私たちはこれまで審議会において審議を行ってきておりますのでこれを読んで戸建住宅において戸別収集を導入すると判断ができますが、一般の市民がこれを読んでも判断がつきづらいように思います。

【事務局】

基本的に、戸別収集の具体的内容についてはこれから策定を行う実施計画（案）において詳細を記載する形を想定しておりましたが、ご指摘いただいた通り、答申案にその内容を盛り込めるよう事務局の方でも検討をしてみます。

【委員長】

他に何かご意見等ありますでしょうか。

事務局案ではこれまでの審議会における意見等も反映していただいておりますが、本日出された意見等も盛り込んだ上で事務局の方で答申案の調整をしていただきたいと思います。

答申については、この答申案の資料をもちまして、ある程度審議会における総意という形でまとめたのではないかと考えております。つきましては、清瀬市長に対する答申は、答申を行うという名目のみで審議会を開催するのもお手間であると思っておりますので、こちらの答申案の資料を基に事務局の方と私で最終調整をさせていただいた上で、答申については私にご一任いただくという形でもよろしいでしょうか。

【委員】

よろしく申し上げます。

【委員長】

ありがとうございます。それでは次の議題その他に行きたいと思っております。事務局お願いいたします。

【事務局】

事務局より今後の審議会スケジュールについて説明。

【委員長】

事務局より今後の審議会スケジュールについて説明がありました。何かご質問等はございますか。

【委員】

スケジュールについてですが、P D C Aサイクルにおいてその年度の計画というのは、できましたら前年度末ぐらいには審議会において示していただき、評価・改善を行うといったしっかりとしたサイクルの構築に努めていただきたいと思います。市の行政にはどうしても予算との兼ね合いがあるかと思しますので、重要なことだと思います。

【事務局】

当面は委員の皆様にご収集体系の見直しに関しての実施計画（案）やP D C Aサイクル等を示しながら、収集体系の構築に向けての審議を行ってまいります。平成32年度以降は年度ごとの課題や目標を委員の皆様にお示しし、戸別収集実施後の課題等を踏まえたP D C Aサイクルの体制をしっかりと築き、更なる廃棄物の減量に努めていきたいと考えております。

【委員長】

事務局には今後のスケジュール調整をしっかりとお願いしたいと思います。

これまで廃棄物処理手数料の適正化から収集体系の見直しに至るまで審議を行ってきたわけですが、おおよその方向性が出せたのもひとえに皆様の活発なご意見やご見識によるものです。誠にありがとうございました。今後は事務局の方で実施計画（案）を作成し、それについてまた皆様で審議を行っていく予定です。次回の審議会については11月～12月の開催を予定しております。ありがとうございました。